

第28回高専シンポジウムで本校学生が「国立大学法人長岡技術科学大学学長賞」を受賞しました。

令和5年1月28日（土）に鳥取県米子市で行われた「第28回高専シンポジウム in Yonago」において、本校専攻科2年の工藤淳平さんが「国立大学法人長岡技術科学大学学長賞」を受賞しました。

高専シンポジウムとは全国の高専生が集まり対外的に研究発表と討論するイベントであり、今年度審査対象となる学生の発表件数は6件で、その中からポスター発表における最高の賞である「国立大学長岡技術科学大学学長賞」を授与されました。

工藤さんは「畳み込みニューラルネットワークを用いた太陽電池モジュールの故障検出」の題目で、ドローンを使ったメガソーラの全自動点検システムの実現に向けて、転移学習を使った畳み込みニューラルネットワークで太陽電池のホットスポット故障を検出するポスター発表を行い、多くの参加者と討論しました。



左から阿部校長、工藤さん、指導教員の三島教授

第28回高専シンポジウム HP

<https://kosen-sympo.org/28th/>